

## 2012年に北海道で発生した森林昆虫

さやま かつひこ おごき けんいち  
 佐山 勝彦<sup>1)</sup>・尾崎 研一<sup>1)</sup>  
 はら ひでほ おの でのけんすけ<sup>2)</sup>  
 原 秀穂<sup>2)</sup>・小野寺賢介<sup>2)</sup>  
 (2014.3.12 受理)

### はじめに

2012年に北海道で発生した森林昆虫の情報をとりまとめたので報告する(表-1, 2)。本報告は、北海道森林保護事業実績書(北海道水産林務部林務局森林整備課, 2013)、森林総合研究所森林病虫獣害データベース、そして森林総合研究所北海道支所や北海道立総合研究機構林業試験場が行なった調査のほか、筆者らに直接寄せられた情報などを集約したものである。

森林総合研究所では、専用ハガキ(森林病虫獣害調査票)の送付やインターネットからデータベースシステムへの直接入力のほか、電子メールによる連絡などを通して全国から被害発生情報を収集し、森林病虫獣害データベースとして蓄積するとともに、これらの情報を提供している。なお、森林生物の専門誌「森林防疫(全国森林病虫獣害防除協会発行)」には、登録情報の速報が掲載されている。データベースシステムにアクセスして情報入力(登録)、閲覧、検索するには、あらかじめ個別のユーザー名とパスワードの取得が必要となる。関係各位で、ユーザー名とパスワードの取得を希望される方や、専用ハガキ(切手不要)を必要とされる方は、森林総合研究所森林昆虫研究領域森林病虫獣害発生情報係、または当該都道府県の森林・林業試験研究機関の森林保護担当者に連絡をいただきたい。

表-1 2012年所管別トドマツオオアブラムシとエゾマツオオアブラムシの発生状況

所管	トドマツオオアブラムシ		エゾマツオオアブラムシ	
	発生区域面積(ha)	防除面積(ha)	発生区域面積(ha)	防除面積(ha)
国有林	0	0	0	0
道有林	154.88	154.88	161.44	161.44
民有林	0	0	18.53	10.36
合計	154.88	154.88	179.97	171.80

表-2 2012年に発生した森林昆虫(トドマツオオアブラムシとエゾマツオオアブラムシは除く)

昆虫名	加害樹種	発生地(市町村)	発生区域面積(ha)	備考
カラマツハラアカハバチ	カラマツ	安平町	1,000.48	
	カラマツ	厚真町	416.96	
	カラマツ	むかわ町	979.45	
	カラマツ類	平取町	1,924.19	
	カラマツ類	日高町	218.69	
	カラマツ	新冠町	1.08	
	カラマツ	新ひだか町	440.84	
	カラマツ	浦河町	1.92	
	カラマツ	夕張市	106.16	
	カラマツ	栗山町	114.08	
	カラマツ	岩見沢市	351.92	
	カラマツ	三笠市	16.00	
	カラマツ	美瑛市	48.64	新たに発生
	カラマツ	歌志内市	212.51	新たに発生
	カラマツ	上砂川町	475.83	新たに発生
	カラマツ	深川市	2,979.89	新たに発生
	カラマツ	上川町	100.64	2010年に発生
	カラマツ	上富良野町	3,188.74	
	カラマツ	中富良野町	1,721.91	
	カラマツ	富良野市	2,820.05	
	カラマツ	南富良野町	1,784.93	
	カラマツ	占冠村	176.29	
	カラマツ	美深町	71.84	
	カラマツ	羽幌町	0.44	
	カラマツ	斜里町	86.54	
	カラマツ	美幌町	109.32	
	カラマツ類	北見市	771.22	
カラマツ・グイマツ		置戸町	1,401.37	
	カラマツ	遠軽町	487.92	
	カラマツ	滝上町	107.05	
	カラマツ	音更町	4,092.62	新たに発生
	カラマツ	士幌町	149.00	2010年に発生
	カラマツ	上士幌町	265.72	
	カラマツ	鹿追町	1,458.72	
	カラマツ	新得町	1,211.53	
	カラマツ	清水町	568.05	
	カラマツ	芽室町	228.28	
	カラマツ	中札内村	3.12	
	カラマツ	更別村	27.23	
	カラマツ	大樹町	337.41	
	カラマツ	広尾町	258.68	
	カラマツ	幕別町	3,516.29	
	カラマツ	池田町	10.00	
	カラマツ	豊頃町	235.40	
	カラマツ	本別町	2.60	新たに発生
	カラマツ	足寄町	140.40	
	カラマツ	陸別町	16.76	新たに発生
	カラマツ	帯広市	80.90	
ニホンアカズヒラタハバチ	カラマツ	大樹町	2.98	新植地で発生、被害なし
カラマツヒラタハバチ				
カラマツマダラメイガ	カラマツ	幕別町	54.11	2010-11年に芽室町と帯広市で発生
カラマツヤツバキクイムシ	カラマツ	倶知安町	1.12	
	カラマツ	芽室町	18.60	
	カラマツ	大樹町	2.64	
カミキリムシ類	スギ	知内町	0.54	
マイマイガ	シナノキ等	共和町	146.04	天然林で発生
	シラカンバ	北見市	4.24	
クスサン	グリ	北見市	14.38	
ハンノキハムシ	ハンノキ	道央~道東の各市町村		2008年から大発生が継続
	シラカンバ			

被害状況を早期に把握し、情報を整理・共有することは、森林・林業の研究や行政にとって森林保護対策上重要である。今後も引き続き、関係各位の情報提供へのご協力をお願い申し上げます。本報告に先立ち、情報をお寄せいただいた関係各位にお礼申し上げます。また、コシジロトゲアシハバチを同定していただいた国立科学博物館の篠原明彦博士に厚くお礼申し上げます。

### 2012年の発生状況

カラマツ（およびカラマツ類）食葉性昆虫の総発生区域面積は、2011年に37,641haとなり、これまでに報告された最大面積を更新した（佐山ら、2013）が、2012年には2,922ha減少し、34,719haとなった。2012年の被害はすべてカラマツハラアカハバチによるもので、本種による被害は前年よりも2,746ha減少した。胆振、日高、上川、網走の各地方では被害が前年より減少したが、空知、十勝の両地方では被害が前年より増加した。被害がもっとも大きかったのは十勝地方で、発生区域面積は12,000haを超えた。胆振、日高、空知、上川、網走、十勝の6地方12市町では1,000haを超え、空知地方と十勝地方では発生市町村数が増加した。

カラマツハラアカハバチは、1995～2002年に道南で大発生し、2003年に一旦終息したようにみえたが、場所を変えて2004年から胆振地方西部で発生し、2011年まで発生区域面積が毎年増加してきた（北海道立林業試験場森林保護部、2010；上田ら、2011；佐山ら、2012, 2013）。今回の被害は発生から9年目であり、胆振地方西部および後志と石狩の両地方での大発生は終息したものの、道北や道東へ被害が広がりつつある。今後、空知、上川、十勝、網走の各地方を中心に、まだ被害が継続する可能性があるため注意が必要である。ただし、本種による食葉被害は、カラマツ（およびカラマツ類）の成長を遅らせることが知られているが、枯死に至ったという報告はわずかしかない（北海道立林業試験場森林保護部、2010）。

なお、被害の報告はないが、大樹町のカラマツ新植地で、ニホンアカズヒラタハバチとカラマツヒラタハバチの成虫が確認された。2011年には旭川市（西神楽）のカラマツ皆伐跡地で、ニホンアカズヒラタハバチの幼虫が発見されている（佐山

ら、2013）ので、今後の動向が注目される。

2010～2011年に道内（芽室町と帯広市）で初めて被害が報告されたカラマツマダラメイガは、2012年には新たに幕別町のカラマツで発生が確認された。本種の被害によりカラマツが枯死した例は現在のところ報告されていない。幼虫は夏から秋に発生し、体長は最大で14mm内外、頭部は黄褐色で複雑な斑紋があり、胸腹部は背面が暗い褐色で淡い縦縞がある。被害枝には食いちぎった葉や糞が糸でつづられている（原、2012）。

カラマツヤツバキクイムシが、倶知安町のほか芽室町と大樹町のカラマツで発生した。原因は不明であるが今後の動向に注意したい。

マイマイガのカラマツでの発生は報告がなかったものの、共和町のシナノキなどの天然林と北見市のシラカンバ人工林で被害が確認された。

近年、トチノキやウダイカンバで大発生しているクスサンは、北見市のクリで発生した。

ハンノキハムシ（写真-1）は、2008年に道央から道東の市町村において大発生が確認され（上田ら、2010）、それ以降、毎年発生している。2012年にも各地のハンノキやシラカンバで被害が確認された。かつて道南地方では、1966年頃から1979年にかけて連年継続発生した記録がある（山口・小泉、1977；小泉1978, 1979；北海道森林昆虫談話会、1980）。引き続き今後の動向に注意したい。

表-2には載せていないが、当別町（道民の森周辺）のハリギリでキバネセセリによる被害、留萌市の広葉樹でチャバネフユエダシヤクの大発生による被害が報告された。

2011年に十勝地方で大発生したカシワマイマイ（マイマイガの近縁種）は、2012年には網走地方

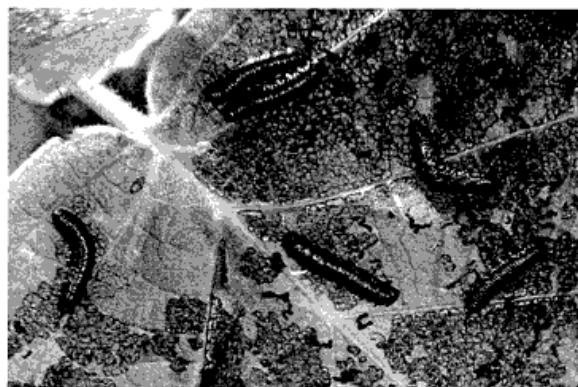


写真-1 ハンノキハムシの幼虫  
(2012年8月5日中札内村にて撮影)



写真-2 コシジロトゲアシハバチの幼虫  
(1993年8月16日新得町にて採集)

で大発生し、紋別市近辺の市街地へ大量に飛来した。今回は滝上町のミズナラ、ハルニレ、シラカンパで本種による被害が確認された。

2009～2010年に深川市のミズナラで発生したナラフサカイガラムシ(原, 2011; 佐山ら, 2012)は、固定調査地での継続調査の結果、2012年にカイガラムシ個体数と枯死・枝枯れ被害はともに減少した(原ら, 2014)。

以上のほか、2012年7月頃、新ひだか町(静内)の二十間道路桜並木で、コシジロトゲアシハバチ(*Armitarsus albicinctus*)による被害が報告された。本種は北海道と本州に分布し、幼虫が葉を食害する(写真-2)。本種による被害はこれまで記録がなく、幼虫や寄主植物も未知であった。以前に室内飼育で得られた、以下の成虫標本が本種であることを、国立科学博物館の篠原明彦博士に同定していただいた: 1♂, 北海道上川郡新得町, 1993年8月16日, 原秀穂採集・飼育〔幼虫(写真-2)〕, 寄主植物はエゾヤマザクラ, 1993年8月27日飼育幼虫老熟, 1994年5月25日成虫羽化。本種の幼虫の体長は最大19mm。頭部は褐色, 胸腹部は背面が黒褐色で白色または淡色の円錐形の小突起があり, 側面と腹面が黄色から淡褐色。頭部近くの背面には円錐形の大きな突起が一对あり, 尾端には円錐形の突起が4本ある。幼虫は7～8月に観察され, 日中エゾヤマザクラの葉の上面に単独で静止しているが, 刺激を与えると体をくねらせる習性がある。

(<sup>1</sup>)森林総合研究所北海道支所, (<sup>2</sup>)北海道立総合研究機構林業試験場)

害の発生. 光珠内季報 162:10-14.

原 秀穂 (2012) カラマツマダラメイガの被害が北海道で発生. 光珠内季報 166:1-2.

原 秀穂・寺澤和彦・徳田佐和子・小野寺賢介・滝谷美香 (2014) ナラフサカイガラムシによるミズナラの被害. 北海道林業試験場研究報告 51:1-6.

北海道立林業試験場森林保護部 (2010) カラマツハラアカハバチの特徴・生態・被害について. 北海道立林業試験場, 美唄. 8pp.

北海道森林昆虫談話会(小泉 力) (1980) 昭和54年度 北海道に発生した森林害虫. 北方林業 32:159-163.

北海道水産林務部林務局森林整備課 (2013) 平成24年度北海道森林保護事業実績書. 北海道水産林務部林務局森林整備課, 札幌. 103pp.

小泉 力 (1978) 昭和52年度に発生した森林害虫. 北方林業 30:162-165.

小泉 力 (1979) 昭和53年度に発生した森林害虫. 北方林業 31:160-164.

佐山勝彦・上田明良・原 秀穂・小野寺賢介 (2012) 2010年に北海道で発生した森林昆虫. 北方林業 64:133-136.

佐山勝彦・尾崎研一・原 秀穂・小野寺賢介 (2013) 2011年に北海道で発生した森林昆虫. 北方林業 65:117-121.

上田明良・原 秀穂・小野寺賢介 (2010) 2008年に北海道で発生した森林昆虫. 北方林業 62:207-209.

上田明良・原 秀穂・小野寺賢介 (2011) 2009年に北海道で発生した森林昆虫. 北方林業 63:127-129.

山口博昭・小泉 力 (1977) 昭和51年に発生した森林害虫. 北方林業 29:160-164.

## 引用文献

原 秀穂 (2011) 北海道におけるナラフサカイガラムシ被